

膜構造ジャーナル 2021

原稿の募集（2回目）

膜構造の建築物等への利用は、従来から活用されてきたスポーツ施設などの大規模空間やテント倉庫など産業施設、駅・通路などの交通施設などに加え、膜天井としての利用や土木構造物への利用なども普及し、更に ETFE に代表される膜構造用フィルムの利用も進む中、一層の発展が期待されています。

このような中、膜構造、膜材料等に係る研究も多方面にわたり展開されています。

一般社団法人 日本膜構造協会では、毎年度、日本における膜構造に関する研究成果の発表の場として、また膜構造に係る研究の蓄積と一層の発展に寄与するため、膜構造研究論文集を編集・発行するとともに、本協会ホームページにおいても公開し閲覧に供してきました。

研究資料、設計参考資料としてご活用いただけてきましたが、本年度より、「膜構造研究論文集」を「膜構造ジャーナル」と改め、膜構造、膜材料等に関して、建築以外の分野における研究も含めより広く投稿をいただき、情報提供を行っていくこととし、研究論文については年2回の公開を行うこととしました。

本ジャーナルは、3部構成とし、第1部では査読を経た質の高い研究論文を掲載、第2部では査読を行わない、技術報告（設計例、計画例、デザイン例、実施例、施工報告、施工、ディテール例、維持管理例、解説等）を掲載、第3部では他誌、国際会議等で発表されたその年の膜構造関係論文のアブストラクト、資料等を掲載することとしております。

研究論文に限らず、技術資料等を含め多方面からの積極的な応募を期待します。

この度「膜構造ジャーナル 2021」の2回目の原稿募集を開始しますので、多方面の研究成果等の応募をお待ちします。

なお、1回目の投稿（5編の投稿があり審査中）と今回の2回目の投稿分を合わせ、本ジャーナルに掲載した研究論文の中より、審査のうえ特に優れたものに対しては、当協会より「論文賞」の授与を行います。（作品・活動等も対象とした「協会賞」の授与も検討しております。）

「膜構造ジャーナル 2021」原稿応募要項

第1部 研究論文

研究論文の内容： 膜構造・膜材料等に関する学術・技術についての研究論文、又は膜構造・膜材料等の利活用を前提とした関連研究に係る論文を対象とします。
なお、他のジャーナルや学会誌、国際会議の **Proceeding** 等で発表された論文等を、本ジャーナルにも掲載を希望される場合は、その旨の記述を必ず入れるとともに、本ジャーナルへの投稿にあたり行った修正点を明記してください。この場合、著作権の手続き等は著者の責任で行ってください。

使用言語： 日本語または英語

応募方法： 応募者に制限はありません。

本ジャーナルへの研究論文の投稿及び審査は、論文投稿サイト '**Easy Chair**' を活用しインターネット上で行います。

投稿をご希望の場合は、**Easy Chair** でご自身のアカウントを取得して投稿を行ってください（料金はかかりません）。

⇒<https://login.easychair.org/account/signup>

Easy Chair の投稿先アカウント等については、本協会ホームページにて公開しますのでご確認ください。

2回目募集の受付開始及び投稿締切は、次のとおりです。

投稿締切 令和4年3月末（投稿受付開始；1月15日）

研究論文の審査： 投稿のあった研究論文については、本協会に設けられた論文審査委員会において審査を行い、採否を決定します。

論文の公開： 採択された研究論文は、本協会のホームページに、「膜構造ジャーナル」として掲載し広く一般に公開いたします。

著作権： 提出された論文の内容及び著作権については、著者の責任に帰するものとし、本協会は編集出版権を有するものとします。

その他； 投稿受付開始及び締切は上記のとおりですが、審査を円滑に進めるため出来るだけ早い投稿をお願いします（早い目に事前登録項目は入力してください）。

応募にあたり、不明な点がございましたら協会へご連絡ください。

（**Easy Chair** の利用方法等については簡単な説明書があります。）

連絡先・技術報告提出先

一般社団法人 日本膜構造協会 研究論文集担当

〒104-0041 東京都中央区新富 2-1-7 富士中央ビル 7F

Tel : (03)6262-8911

Fax: (03)6262-8915

E-mail: ronbun@makukouzou.or.jp